



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

8・9月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】(8月) 親と教師
(9月) 沈黙の価値
【宣教】(8月) アフリカの教会
(9月) 迫害されるキリスト者
【日本の教会】(8月) 平和の連帯
(9月) 移動者への配慮

福岡教区全司祭研修会開催

6月24日から26日まで、福岡教区で働く全司祭を対象として研修会が唐津にて行われ、50人が参加した。テーマは「子どもの司牧を考える」



で、キリスト教入信式(洗礼、聖体、堅信)の諸問題を3日間(わたり)講話を聴き、分かち合った。講師を務めたカンペンハウド神父(横浜教区)は、はじめに「パソコン、携

2013年 平和旬間
日本カトリック司教協議会会長談話(抜粋)
おりしも国内では、改憲への動きが急になっていきます。これは、憲法改正要件を現行の両議院の3分の2以上の議員の賛成から過半数に緩和しようとする企てです。憲法改正のハードルを下げる

している条文であります。9条が存在するので日本は敗戦後一度も戦争で人を殺したことはなく、また殺されずにすんだのです。9条を護り生かすことはわたしたちの大切な責務です。

収されて基地は拡大され、沖縄ではこの日を「屈辱の日」と呼んでいるのです。それにもまして、「日米地位協定」という不平等協定によって、いまだ日本の主権は回復してないことも忘れてはならないでしょう。

わたしは、沖縄戦終結の日とされている6月23日(沖縄慰霊の日)にこの平和旬間の談話を発表します。沖縄の人々の想いに連帯することこそが重要なことであると考え



式も合わせて行われた。受堅したのは4人の子どもたちと2人の成人、いずれも女性ばかりで50周年と堅信式に文字通り華やかな花をそえた。その後の祝賀会には、多久教会ゆかりの信徒達や近隣の方々、佐賀地区司祭団、修道者など多くの人々がお祝いに駆けつけた。みんなでお弁当を囲むという誠にささやかな祝宴ではあったが、特に子どもたちの劇や全信徒による歌などに参加者は、惜しみない拍手を送っていた。

教皇フランシスコは福者ヨハネ・パウロ2世教皇の列聖を可能にする奇跡認定教令に署名し、福者ヨハネ23世の列聖についても枢機卿会議を招集する旨を明らかにした。

帯電話等の普及によって子どもの世界は大きく変わった。第2バチカン公会議後、カテケーシスは刷新されたので、子どもの司牧を改めて考える必要がある。現代は、様々な交通機関の発達によって速さが追求され、またインターネットの普及によって『時間』の感覚が継続的に流れる時間から、瞬間の時間感覚となり、子どもたちも忍耐力はなくなり、将来に対するビジョンを持ちにくくなっている。このような現状の中で、子どもの養成は、知識を伝えると同時に典礼への参加を促すこと、何よりもキリストとの出会いによって『回心』、生き方を変えることを目指すべきだ」と指摘した。また、具体的には幼児洗礼において両親に対する信仰教育の重要性、また

司祭たちからは、子どもの教会離れ、無関心と同時に親の協力、信仰を子どもに伝えるという意識が薄くなっていること、あるいは家庭での祈りがなされていらないことなどがますます司牧を難しくしているという声が目立った。また幼児洗礼の意味、堅信の意義などがどれほど信徒に伝わっているのか、単に義務として受けられているのではないのか、そうであれば、司牧者には何が求められているか真剣に模索するべきという声があった。点としての秘跡理解から線として、すなわち7つ

長崎から移住した信者を礎にして
多久教会創立50周年
した。当時、石炭産業が繁栄していた時期で、信徒の多くは、長崎から移住してきた人たちであった。また、小教区の範囲は、多久市の他に東松浦郡と小城郡を含み、初代主任司祭は、S・アクアビア神父であった。1964年、教会に隣接する土地を幼稚園用地として購入し、66年4月に開園したが、少子化に伴い、2011年には閉園している。

式典当日は、朝からあいにくの雨であったが、宮原司教の副司教長などを迎え、堅信

主司祭の伊東神父は「奇しくも『信仰年』であるこの年に50周年を祝う事が出来たのも神の恵み深い導きだと思

教皇フランシスコは福者ヨハネ・パウロ2世教皇の列聖を可能にする奇跡認定教令に署名し、福者ヨハネ23世の列聖についても枢機卿会議を招集する旨を明らかにした。

教皇フランシスコは6月22日、札幌教区の司教として、札幌教区司祭の勝谷太治師(57)を任命した。10月14日に司教叙階を受け、正式に就任する。札幌教区は2009年11月に地主敏夫司教が教区長を引退して司教座空位となっていた。

2人の福者教皇
列聖へ
教皇フランシスコは福者ヨハネ・パウロ2世教皇の列聖を可能にする奇跡認定教令に署名し、福者ヨハネ23世の列聖についても枢機卿会議を招集する旨を明らかにした。

時の話題

岩崎富士男

昨秋から今年にかけて、何度かの内視鏡検査の結果、胃ガンの宣告を受けて四旬節を病院で過ごした。手術の後遺症で、声帯の変調と傷の痛みに耐えながら、3週間退院した。その間に多くの方々からお祈りと励ましで支えて

青年時代に、「苦しみに遭ったなら苦しみの意味を考えなさい」と母に教えられたことを思い出した。苦しみを受容する心を持つことで信仰は強められる、と私は思う。

今回の病氣は、神が私に下さった「試練と恵み」であると受け止めている。神が私に望んでいるのは、人々から忘れられている人や、苦しんでいる人達に寄り添い、兄弟姉妹として孤独や苦しみを共有して、フランスコのように彼らと共に歩みなさい、と私に呼びかけている。

チベット仏教のダライ・ラマ法王が、ある講演会の後で、「人間にとって幸せとは何ですか。あなたは今までの人生の中でいつが一番幸せでしたか」と質問された時、法王は「いつでも今が幸せだ」と答え、また中国当局から様々な弾圧を受けながらも「中国もわが師です」と答えたと言う「神と見えない世界」村上和雄。また、先日TVの特集でサッカー日本代表の本田選手は「ピンチこそチャンス」と言っており、復帰困難かと思われるほどの足の怪我を壮絶なリハビリで克服していく姿が印象的であった。怪我が与えられることによって、それまで気がつかなかったことに気づき、あるいは孤独な自分との闘いを繰り返しながら、それまで表面化しなかった自分の新たな可能性を開花させるというのである。普通の人間は、困難なことに行く手を阻まれた時には、往々にして誰しも落ち込んだり、あきらめたりするものである。しかしこの両者に共通していることは、困難や苦難をバネにしてそれをプラスに変えるばかりではなく、自分に重い荷を課す相手に感謝すらしていると思われる点である。思うにキリストの十字架は、全能の神の子の苦しみと死であり、全能でありながら全く無力な人間として死を甘んじて受けるという最大の逆説である。何もものかの真理に触れた者は、この逆説を知っている人であるように思う。物事の表面ではなく、そのウラあるいは背景、あるいは現象の向こう側に隠されている真実を見通す信仰の恵みを願いたいと思う。

休みと学び、祈りの集い

教区邦人司祭有志が一なる三位の神について学ぶ



7月9日から11日まで邦人司祭有志7人が、伊万里のトラピスト修道院に集い、休み（心身のいやし）と学び（信仰の再確認）そして祈りの集いを行った。講師は聖トマス・アクイナス「神学大全」全巻の翻訳を終えられた稲垣良典（古賀教区）氏で、テーマは「三位一体の神、その唯一性」についてであった。以下、講義での気づきを参加者の一人として分かち合いたいと思う。

私たちは「唯一の神、全能の父なる神を信じる」と宣言しているが、まず、この「信じる」とは何か。三位一体のように理性では分からないから単に受け入れるというだけのことか。否、信じるとは「知解を求める信仰」と言われているように、信じているものを探求し、それによって新しい地平が広がることだと氏は言われた。このような視点に立つて改めて、上記のテーマを深めていく。この神の唯一性は、単数、複数のような数的な一ではない。もし、数的な「一」だけを考えるなら、なぜ「父と子と聖霊」なのか、納得のいかないことになる。「そこで、人格であるこの私について考える。「私」と一人称単数で発話する「自分自身」すなわち人格は、自己を振り返り、自己へと完全に立ち帰るような存在である。だが、私（自己）が自己を振り返るとき、自己は完全に「二」でありながら明確に区別されているのではない。そうでなければ自己認識も

自己「愛」も空虚な言葉になるだろう。「人格」という存在は自分自身へと立ち帰ることにおいて「二」である存在なのである。自分自身への立ち帰りととは、一種の関係であり、交わりであるから人格とは交わりにおいて「在る」存在だと言えるだろう」（稲垣良典著「キリスト教は一神教か」學士會会報2013・1より）。一昔前に「アイデンティティ・クライシス」や「自分探し」という言葉がはやった時代があった。自分とは誰か。何十年か前にこの世に生を受けた「この私」は、考え方も、体も時々刻々変化し続けている。その私が絶えず同一の私であることを基礎づけている根拠は何か。自己を振り返り、より良い自己を思い描くこの私には、他と区別される「私」独自の固有性のようなものがある。すなわち一人の人格としての私は、様々な面を持っており、互いに関係し合い、この「私」を形成している。同様に聖書の神は時として人間を罰したこととを「後悔し」あるいは「思い直し」ながら私たちとの関

わりを深めようとする。決してただ一人の独裁者のように振舞わない。神が存在する、「在る」のは、机の上にコップがあるというような「在り方」ではない。神は数的に数えられるようなお方でも、何かそこに場所を占めているような方でもない。「神が在る」のは、孤立的自己として「在る」のではなく、互いの関係の中で、相手と交わり、関係を深められる方と言える。神は、点や面、空間に在るのではなく、すべてを包み込む方として「在る」。それはちょうど、母が子どもの欠点も美点もすべて包み込む愛があるというようなものか。さらに私たちが今こうして「在る」のは、愛である神、すなわち、自己を永遠に与え続ける「存在そのものである方」からその存在を受けているからである。そしてこの神は、み言葉であるおん子と愛である聖霊の交わりに私たちを招いておられる。その招きに応えることこそ、私たちの救いなのである。三位一体の神についてこのような観点で考察したこととはなかった。参加者の一人

として司祭が日常的に埋もれてしまうことなく、常に委ねられている「信仰の遺産」を深めることの重要さを痛感したと同時に、その遺産を日々深めておられる氏に感謝する次第である。

今回の集いは司祭の生涯養成の一環として、捉えることも出来るが、日々司牧に、幼稚園、保育園の責任者として、あるいは教区内外の行事に振り回されている司祭たちにとって、極上のひと時だったと思う。シスター方とともに美しい時課の典礼に与り、美しい自然環境の中で、心のこもったお料理をいただき、司祭たちにとって身も心も満たされた3日間となった。集いの最後に渋谷大修道院長の言葉が心に残った。「日本の教会はここ近年、宣教や、社会活動への参加などと叫ばれてきたが、祈ることと忘れていないか、祈らない教会には神さまも働きようがない。」この言葉が、今回の集いの締めくくりとなった。

福岡教区の皆様、お元気ですか。私は今、アメリカのアウグスチノ会の教会で世話になりながら、神学を学ぶための準備として、大学で英語を学んでいます。アウグスチノ会の神父様方をはじめ、信徒の皆様、友人達に支えられながら元気に生活しています。今回は少し、私が生活している教区の取り組みを聞き、感じたことを紹介させていただきます。というつもりです。

ニューヨーク大司教区は、375小教区によって構成され、主に英語圏とスペイン語圏の人々がミサに与っています。この教区の取り組みの一つに挙げられているのが、イスラム教との宗教対話です。9・11自爆テロの被災地となったこの地において、とても難しい問題の一つでもあります。テロ直後、イスラム教徒への偏見の目は厳しかったと伝え聞いています。「恐れ」がテロ実行犯とイスラム教を同一のように捉えてしまい、

その眼差しを曇らせてしまったのだと思います。そのような状況の中で、この宗教対話は、お互い崇める神は異なれども唯一神教であり、神を愛して礼拝を捧げることや、自分たちの伝統を次の世代に伝える努力を行っていることなど、共通点や相違点を尊重しながら、互いに抱える問題を分かち合い、何よりも互いを知り理解しようと努力する所に感銘を受けました。私自身もこの地に来るまでは、報道による情報のみで一種の偏見を持っていたのだと思います。けれども、大学でイスラム教徒の友人と出会い、その立ち振る舞い、真摯に神と向き合う姿に、神への信頼、自分の目で物事を見ること、人と触れ合うこと、人を理解しようと努力することが大切なのだというのを再認識させられる日々を過ごしています。

このような、自分自身の成長の機会を与えてくださった司教様を始め、懸命に働いておられる兄弟司祭の皆様、お祈りを捧げてくださっている皆様に感謝申し上げます。今暫く、自分自身の成長の為に時間をいただき、後にお返しすることができればと思います。皆様、そして皆様のご家族の為にこの地よりお祈りさせていただきます。それではまたいつの日か、お会いできる日を楽しみにしています。ヨセフ十時伸治

留学司祭からの便り お元気ですか？十時神父様



福岡教区の皆様、お元気ですか。私は今、アメリカのアウグスチノ会の教会で世話になりながら、神学を学ぶための準備として、大学で英語を学んでいます。アウグスチノ会の神父様方をはじめ、信徒の皆様、友人達に支えられながら元気に生活しています。今回は少し、私が生活している教区の取り組みを聞き、感じたことを紹介させていただきます。というつもりです。

ニューヨーク大司教区は、375小教区によって構成され、主に英語圏とスペイン語圏の人々がミサに与っています。この教区の取り組みの一つに挙げられているのが、イスラム教との宗教対話です。9・11自爆テロの被災地となったこの地において、とても難しい問題の一つでもあります。テロ直後、イスラム教徒への偏見の目は厳しかったと伝え聞いています。「恐れ」がテロ実行犯とイスラム教を同一のように捉えてしまい、

「信仰年」を旅するために 信徒の信仰

XI

追立 季治

人生には様々な人らしい歩みがある。私は、カトリックの信仰に導かれて60年近い。高校の時に教会に通い始め、就職後会社のカトリック研究会に加わり、黒崎教会で要理を学んだ。受洗後、カトリックの教えと典礼の素晴らしさに酔いしれていた。当時を振り返ると、かたくなにカトリック意識で武装した未熟で愚かな私の姿が見えてくる。第2バチカン公会議のあと、典礼や信仰意識が見直され、諸教令を故岩永神父様と毎週学び信仰観を啓発され

た。特に『信徒の身分について、キリストの司祭職・預言職・王職に参与するもの』と宣明された教会憲章には、信徒がキリストの使命に招かれ、パン種となる喜びと豊かさが見えてくると知った。その後、NICE1,2（福音宣教推進全国会議）が開催され、司教団から教会共同体の刷新の種が蒔かれた。その頃私は、会社では中堅社員、家庭では5人の子育てに腐心し、信仰と生活の一致の難しさを痛感していた。ミサ毎に派遣の祝福を受けながら、生

活の場で福音をどう伝え、信仰の喜びを分かち合うにはどうすれば良いかわからず、指導も得られないまま行き詰まり感が強かった。そして想ったのは『社会は信徒の専有領域だから、信徒が自立しない限り福音は伝わらず、誰もパン種になれない』と。私は受洗後20年近く経って、やっと信徒の生き方として一つの選

びをした。第2回CLC九州大会の時（1976年）、妻キミ子と共に有期誓約をし、家族の生き方を、霊的内省と分かち合いと奉仕に焦点を向けていった。洗礼から40年近く経ちCLCの永久誓約をした。今年

は信仰年、「あなたの信仰とは何か」と問われるな

として司祭が日常的に埋もれてしまうことなく、常に委ねられている「信仰の遺産」を深めることの重要さを痛感したと同時に、その遺産を日々深めておられる氏に感謝する次第である。

今回の集いは司祭の生涯養成の一環として、捉えることも出来るが、日々司牧に、幼稚園、保育園の責任者として、あるいは教区内外の行事に振り回されている司祭たちにとって、極上のひと時だったと思う。シスター方とともに美しい時課の典礼に与り、美しい自然環境の中で、心のこもったお料理をいただき、司祭たちにとって身も心も満たされた3日間となった。集いの最後に渋谷大修道院長の言葉が心に残った。「日本の教会はここ近年、宣教や、社会活動への参加などと叫ばれてきたが、祈ることと忘れていないか、祈らない教会には神さまも働きようがない。」この言葉が、今回の集いの締めくくりとなった。

福岡教区の皆様、お元気ですか。私は今、アメリカのアウグスチノ会の教会で世話になりながら、神学を学ぶための準備として、大学で英語を学んでいます。アウグスチノ会の神父様方をはじめ、信徒の皆様、友人達に支えられながら元気に生活しています。今回は少し、私が生活している教区の取り組みを聞き、感じたことを紹介させていただきます。というつもりです。

ニューヨーク大司教区は、375小教区によって構成され、主に英語圏とスペイン語圏の人々がミサに与っています。この教区の取り組みの一つに挙げられているのが、イスラム教との宗教対話です。9・11自爆テロの被災地となったこの地において、とても難しい問題の一つでもあります。テロ直後、イスラム教徒への偏見の目は厳しかったと伝え聞いています。「恐れ」がテロ実行犯とイスラム教を同一のように捉えてしまい、

黙想会のご案内

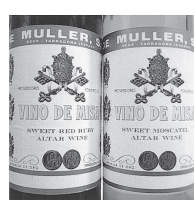
★奉獻生活者のための黙想会
・11月22日(金)～12月1日(日)費用:8万円(指導:御受難会 中村克徳神父)
★一泊黙想会(15:00～15:00)費用8,500円(指導:御受難会 中村克徳神父)
9月7日(土)～8日(日)、10月26日(土)～27日(日)
★日帰り黙想会(10:00～15:30)費用3,000円(指導:御受難会 中村克徳神父)
9月20日(金)、11月8日(金) 詳細は下記へお問い合わせください。

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
Eメール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp



ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

典礼シリーズ ⑭

日本カトリック神学院
院長 白浜 満神父

【質問】 十字架のしるしをするとき、「父と子と聖霊とのみ名によつて」と唱える人がいますが、「聖霊との」と「と」が入ると、入らないのと違いは何ですか。

【質問に答えて】 現行の日本語の『ミサ典礼書』によれば、十字架のしるしをするときの祈りは、「父と子と聖霊のみ名によつて」となっていて、「父と子と聖霊とのみ名によつて」ではないこ

とに留意したいと思います。それは、どうしてなのでしょう。まず、日本語の助詞「と」については、「対等の資格の物を列挙する。ただし最後の『と』は省くことが多い」(『広辞苑』第四版「と」①ハ参照)と説明されており、「父と子と聖霊のみ名によつて」は、「父と子と聖霊とのみ名によつて」の省略形であるといふことができます。

しかし、日本語の典礼文で、最後の「と」を省略しているのは意図的であり、そこにはもう一つの理由があります。「父と子と聖霊のみ名によつて」は、元来、マタイ福音書の終わりに記されている「あ

なたがたは行つて、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によつて洗礼を授け」(28・19) なさいという、イエスの命令に由来しています。日本語の典礼文では「名」に敬語の「み」をつけて、「父と子と聖霊のみ名によつて」という言葉遣いになっています。「名」というギリシア語の単語(ト・オノマ)の説明を辞書で調べてみると、ユダヤ人の思想によれば、「名」は「実体」(その名を持つ人自身)と切り離せないものであり、いわば本質を表すものと考えられ、とくに神の場合に、その名は重大視された、

という解説があります。キリスト教によると、神は「父と子と聖霊」という三つのペルソナ(人格)でありながら一つの実体、すなわち「三位一体」です。もし、「父と子と聖霊とのみ名によつて」というように、三度「と」を用いるなら、父と子と聖霊はそれぞれ異なるペルソナであるといふことは強調されますが、「二つの実体である」というニュアンスが弱まってしまいます。そして「三つのペルソナ・三つの実体」と誤解されても仕方ありません。それよりも、最後の「と」を省略して「父と子と聖霊のみ名によつて」という表現にすると、

素化である。大島牧師の講話を受け、白浜満神父(日本カトリック神学院院长)による応対があり、その後、質疑応答が行われ、主にキリスト教団に対する質問が多く出され、参加者の多くが教団の諸派の違いをはじめて認識した。たとえば、プロテスタント教会ではゆるしの秘跡はなく、牧師との直接の面談、カウンセリングのような形が普通に行われている。また、聖体(ミサ)については、聖餐式、主の晩餐、愛餐などと呼ばれ、キリストの現存と一致については、聖別から拝領の間だけ、あるいは拝領の瞬間だけ認め、あるいは象徴に過ぎないという教派まで様々である。この点について、白浜神父は、教派による教義の違いはあっても、聖体の中に

イエスとの一致を認めるという共通点にキリスト教一致への期待をおきたいと語った。大島牧師の講話も軽快で、時折笑いの出る和やかな雰囲気の中、行われた第1回目の講話は、同じイエス・キリストを信じる者の教派の違いを知るといふ当初の目的を達成出来たと感じられる講演会となった。

カトリック福岡地区キリスト者一致推進の集いは、毎月最後の日曜日、16時から大名町教会にて行われている。現在のエキムニカルな活動協力について話し合い、またカトリック教会のエキムニズムへの取り組みの源泉と仕方を学ぶ。福岡地区の信徒・修道者・司祭、興味のある方はどなたでも参加が求められている。

現代カトリック思想叢書 26. 第2バチカン公会議によって刷新された教会理解に基づいて書かれた教会論。現代の日本社会において、キリスト者が生き生きとした教会生活を生きていくために、また教会が果たすべき役割を真に理解し、担っていく上で、大変、貴重であり、多くの示唆に富んでいる。

サンパウロ 発行
税込価格 4515円

☆YOU CAT
カトリック教会の青年向けカテキズム―

青年向けにオーストリアの司教が作成した要理書の日本語版。難解な用語をできるだけ避け、Q&A形式の柔らかな文体で、カトリック教会の教え全般が網羅されている。カトリック中央協議会発行

税込価格 1800円

☆八月六日の朝 ぼくは十四歳だった 長谷川儀著

原爆炸裂の瞬間、大火傷を負ったヒロシマの少年の奇跡的回復と、その後の司祭としての歩み。

女子パウロ会 発行
税込価格 1365円

6月29日(土) 福岡地区信徒使徒職協議会・宣教社会部主催による講演会が大名町教会で行われた。今回は日本カトリック正義と平和協議会の「改憲反対キャンペーン」の呼び掛けに応えるかたちで、テーマは「いま、平和憲法があぶない」。講師に松浦悟郎司教(大阪教区)をお招きして行われた。当日の講演会は6月23日に発表された岡田大司教の「平和句間を越えるにあたり」の談話朗読から始まり120人の参加者が松浦司教の話に耳を傾けた。司教は大きく二つの視点で話しを進めた。一つは「世



いま、平和憲法が危ない
松浦司教を迎え講演会

界の大きな流れ、もう一つは「憲法条文の見直しから日本がどう変わろうとしているか?」である。

世界の大きな流れの事例としてキューバ危機を取り上げた。当時の核戦争寸前の緊張した情勢の中で教皇ヨハネ23世が重要な役割を果たし戦争を回避させた経緯。そこには教会の現実世界の現実、たといことが窺える。第2バチカン公会議はヨハネ23世の意志で始まるが、公会議は社会に扉を開けた結果、一気に社会の問題が教会に入ってきた。教会には根強く社会の問題を分けようとする考えがあるが、社会の問題は人間の問題であり、その問題は教会の中心の関心事である事を司教は強調した。



教派との対話と理解の講話

国々には脅威となり、危機感が増すことになる。憲法は国民が国家に命令しているものであり、国家を縛るものであるのに、今は国家が国民を支配できるようにしようとしている動きは憲法の本質を揺るがすものであるとし、現憲法前文は感動的である、まずの違いを受け入れることから

2バチカン公会議の「エキムニズムに関する教令」の精神に従って、まずは違いを受け入れて、議論ではなく、知るところから対話を始めることを趣旨としていた。

講師に、大島一利師(日本基督教団牧師・福岡女学院宗教学部)をお迎えし、50分の講話で、教団の歴史背景の説明をし、教団内も礼拝の順序や聖餐式に関する考え方がそれぞれ異なり、各教会、牧師によって礼拝の形、使われる聖書や讃美歌集まで異なると指摘した。これは教団がいくつかの教派が集まって作られたことに起因すると説明した。日本基督教団の礼拝の基本的な立場は、母国語による礼拝、会衆讃美歌と詩編歌の奨励、説教の重視、礼拝の簡

青年たちが取り組む中高生活動

活動が盛んと言われている福岡地区の青年会だが、最近活動は低下傾向だった。危機感を抱いた青年たちは、青年たちをもう一度集める企画、そして、青年の前の段階である中高生のための企画という2つの試みを始めた。その中で行われたのが6月16日(日)の福岡地区中高生会である。青年たちが企画し、当日は20人を超える中高生・青年が集まり、レクリエーションとお菓子作りを楽しんだ。この集まりを「中高生わっしょい」と命名し、今後も各季節に1回は集まることになった。



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える Ⅲ

福岡黙想の家ご案内 8・9月

～4日(日) ショファイユの幼きイエズス会黙想会 (空室0)
5日(月)～6日(火) カトリック学校教職員研修会 (空室0)
10日(土)～19日(月) 長崎純心聖母会黙想会 (空室2)
21日(水)～30日(金) 長崎純心聖母会黙想会 (空室1)
9月1日(日)～6日(金) オブレート会黙想会 (空室0)
7日(土)～8日(日) 一泊黙想会 (空室25)
8日(日)～14日(土) レデンプートル会黙想会 (空室0)
15日(日)～16日(月) 聖マリア在俗会黙想会 (空室10)
16日(火)～17日(水) 長崎巡礼団 (空室0)
20日(金) 日帰り黙想会
21日(土) 福岡チェナクルム
22日(日)～23日(月) 九州アシュラム (空室15)
28日(土)～29日(日) 福岡雙葉学園研修 (空室0)
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：イエス様に祈りを学ぶ
・日 時：9月12日(木) 10時～15時
・内 容：イエスの「大祭司の祈り」(ヨハネ17章)
指 導 者：フランコ・ソットコルノ神父(真命山院長)
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回：10月10日(木)
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

福岡地区聖書講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い
『ルカ福音書における愛といやし』
日 時：9月15日(日) 14:00～16:00
講 師：大塚了平神父(光丘教会協働司祭)
場 所：カトリック大名町教会1階講堂
主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：共に学び、生活の場で伝えよう
～『ルカ福音書が呼びかける信仰』～
日 時：9月29日(日) 14:00～16:30
講 師：山元眞神父(小倉教会主任司祭)
場 所：カトリック小倉教会
主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

福岡地区平和を祈る集い

日 時：8月10日(土) 13:00～15:45
場 所：大名町教会1階講堂
第1部：講演会
「福島の現実その叫び～回心への聖地その希望～」
講師：金澤弘子(白河みみずく)
第2部：福岡女性の会報告会
主 催：福岡地区信徒使徒職協議会

佐賀地区平和を考え祈る集い

テーマ：「平和を考え祈る」―高校生平和大使を囲んで―
日 時：8月11日(日) 10:00 講演、11時20分ミサ
場 所：カトリック佐賀教会
講 師：高校生平和大使 吉田澤
主 催：カトリック佐賀教会

福岡教区信徒協研修会

テーマ：「社会の中の教会をめざして」
日 時：9月23日(月) 10:20～16:25
場 所：カトリック大名町教会
講 師：森山信三神父(西新教会主任司祭)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

8月のこよみ

案 内 板

会合と催し

9月のこよみ

4日(日) 年間第18主日
久留米教会公式訪問・堅信式
5日(月) 教区カトリック小中高校教職員研修会(～6日)
↑ベトロ平田三郎司教(2007年第4代教区長)
6日(火) 主の変容・日本カトリック平和旬間(～15日)
教区召命学校(～8日)
7日(水) ↑J・P・ラベル(2004年大神学院)
8日(木) 聖ドミニコ司祭
宮原司教霊名の祝い
教区神学生錬成会
FYCC(～11日)
9日(金) 聖ラウレンチオ助祭殉教者
10日(土) 福岡地区平和を祈る集い
11日(日) 年間第19主日
佐賀地区平和を考え祈る集い
12日(月) ↑A・ブルトン司教(1954年第2代教区長)
15日(木) 聖母の被昇天
和田墓地追悼ミサ
18日(日) 年間第20主日
↑ミカエル堤要吉(2002年浄水通教会)
20日(火) 教区幼児教育連盟研修会(～21日)
↑L・デシャンブ(2001年八王寺本部)
↑D・グリフィン(2001年玉名教会)
↑ユスチノ三村邦明(2012年久留米教会)
25日(日) 年間第21主日
笹丘教会堅信式
↑フランシスコ・ザビエル堤敏雄(2011年飯塚教会)
27日(火) 福岡地区女性の会モニカ祭
30日(金) ↑J・ガイヤール(2007年八王寺本部)

1日(日) 年間第22主日
5日(木) 常任司教委員会(東京)
6日(金) 初金曜日・サリスの集い
7日(土) 教区カトリック幼稚園中堅教職員養成講座
↑フランシスコ・ザビエル牧山重光(2005年門司港教会)
8日(日) 年間第23主日
筑後地区親善スポーツ大会
↑G・パーク(2000年崎津教会)
10日(火) 司祭評議会
12日(木) ↑A・セトアイン(2003年イエズス会福岡修道院)
14日(土) 十字架称赞
15日(日) 年間第24主日
21日(土) 聖マタイ使徒福音記者
22日(日) 年間第25主日
世界難民移住移動者の日(献金)
23日(月) 秋分の日
↑J・バイヨ(2004年光丘教会)
↑ヨゼフ深堀敏司教(2009年高松教区長)
24日(火) 年間第26主日
29日(日) 年間第26主日
10月
3日(木) 常任司教委員会(東京)
4日(金) 特別臨時司教総会
6日(日) 年間第27主日
マネルバ師司祭叙階50周年の祝い

■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：8月3日、17日、9月7日、21日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆菅井日人写真展「天国の窓」
(日時) 7月25日(木)～8月6日(火) 9時～17時30分(土日休館)(場所) C A N O N ギャラリー(福岡市博多区綱場町4-1福岡RDBビル1階)(問合せ先) ☎092・281・1400
◆こひつじ会
(日時) 8月10日(土) 11時(場所) 福岡黙想の家ログハウス(内容) QOLを高める(参加費) 無料(自由献金)(問合せ先) ☎0940・33・2731吉永
◆福岡地区納骨堂
(納骨堂開放日) 8月13日～15日10時～15時(追悼納骨式ミサ) 8月15日(木) 14時
◆心の健康セミナー
(日時) 8月25日(日) 14時(場所) 福岡黙想の家ログハウス(指導者) 小宮豊氏(精神科医師)(参加費) 自由献金(主催) 心の健康セミナーを支える会(問合せ先) ☎0940・32・1173矢田
◆福岡ホスピスの会勉強会
(日時) 9月8日(日) 14時(場所) 大名町教会(テーマ) 緩和ケア病棟から(講師) 原口勝氏(那珂川病院緩和ケア病棟部長)(参加費) 一般1000円(問合せ先) ☎
◆在せつフランシスコ会集会
(日時) 9月15日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集会所(問合せ先) ☎092・843・5831岩崎
◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 9月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(問合せ先) ☎096・380・5686堺
◆聖書に集う会
(日時) 9月19日(木) 18時30分(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階会議室(講師) 鈴木信一神父(聖パウロ会)(問合せ先) ☎092・721・2031聖パウロ修道会
◆虹の会 子どもを亡くした親の会
(日時) 9月21日(土) 13時30分(場所) 大名町教会(参加費) 600円(問合せ先) ☎090・1162・6395柴田
◆聖霊による信仰生活刷新セミナー
(日時) ①9月23日(月) ②9月24日(火) 10時30分(場所) ①サンパウロ福岡宣教センター②大名町教会(テーマ) 執り成しの秘訣(講師) 畠基幸神父(御受難会)(問合せ先) ☎092・521・2503蓮尾
◆聖パウロ修道会青年黙想会
(日時) 10月5日(土) 15時

6日(日) 15時(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(テーマ) メディアを通して語りかけてくださるキリスト(対象) 修道生活に関心のある独身男性(参加費) 2000円(問合せ先) ☎03・3351・5154ブラザー小島
◆第60回典礼聖歌研修会
(日時) 10月6日(日) 14時(場所) 光丘教会(講師) 深堀純氏(問合せ先) ☎092・541・3730松山
◆筑後地区女性の会集会
(日時) 9月1日(日) 14時(場所) カトリック小郡教会
◆筑後地区親善スポーツ大会
(日時) 9月8日(日) 9時30分宮原司教主司式ミサ、10時45分大会(場所) 大刀洗ドリムセンター
◆小倉祈りの集い
(日時) 8月30日(金) 13時半(場所) 小倉教会信徒会館(指導) ガブリエル神父(御受難会)(連絡) ☎090・3985・5209松田
◆北九州召命を共に祈る会
(日時) 9月10日(火) 9時30分(場所) 天神町教会(内容) ミサとミーティング(司式) ブルーニ神父(黒崎教会)(連

北九州

筑後

佐賀

熊本

緒先) ☎0949・24・9905藤井
◆主日の福音を味わう集い
(日時) 9月22日(日) 14時(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会千防修道院(問合せ先) ☎093・884・0506シスター高橋
◆震災のための祈りのレレー
(日時) 8月11日(木) 8時ミサ、19時夕の祈り(場所) 馬渡島教会。9月詳細未定(問合せ先) fr05abe19ko@yahoo.co.jp Br阿部光一
◆熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 9月19日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825青木悟神父
◆神学講座主催 辰巳芳子氏特別講演会
(日時) 10月26日(土) 14時(場所) 健康教会(テーマ) 手からいのちへ(講師) 辰巳芳子氏(料理研究家・作家)(対象) 医療従事者・在宅医療に関わる方・スリーブづくりに関心のある方(参加費) 3500円(申込) ☎096・352・1515(FAX)のみ、9月1日より受付(問合せ先) ☎096・352・3030手取教会岸・平田
◆熊本地区神学講座
(日時) 10月27日(日) 13時30分(場所) 手取教会聖堂(テーマ) 食と霊性(講師) 辰巳芳子氏・伊藤幸史神父(東京教区)(対象) カトリック女性信徒(参加費) 1000円 ※申込及び問合せ先は26日の講座に同じ

編集後記

「信仰年を旅するために」シリーズは今回で終了です。執筆いただきました皆様に感謝申し上げます。9月号は、休刊です。皆様、よき休みを。

9月号は休刊です。

COSMOS

スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きませんか?
=募集=
医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室 いくま整骨院

受付時間 平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公告

平和を

永井隆

休業日 8/4,11,14-16,18,25 9/1,8,15,16,22,23,29

メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930